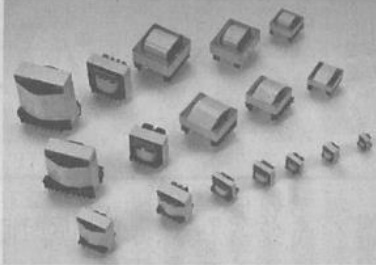


サンシン電気

中国に新委託工場、トランス生産拡充



サンシン電気が製造・販売するトランス製品群

「クールボビン」製品温度低減
来年度サンプル出荷

サンシン電気（東京都練馬区、石井宏宗社長）は、中国・東港市の新たな協力工場でトランス生産を4月に始め、月産100万個で販売を拡大していく。エアコン、白物家電、OA機器、産業機器向けなどで既に受注対応しており、4月から順次出荷を始める。今後は日本国内や東南アジア諸国連合（ASEAN）での生産も検討しており、輸送のリードタイム短縮や原価低減を進めていく。

開発した「クールボビン」は一般形状のトランスと比較し、製品温度を5〜10度C低減できる。クールボビンは意匠権を申請中。今後はクールボビンの2024年度の量産に向けて23年度からのサンプル出荷の準備を進めている。

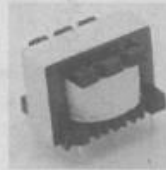


SANSHIN GROUP

電源・トランスのコンサルティングファーム

サンシン電気の5つの強み

- ①ボビンの豊富なラインナップ
- ②ICアプリケーションへの採用
- ③半導体メーカーと連携した設計フォロー
- ④電源の小型化アートワーク実績多数
- ⑤低ノイズ対応



スイッチング電源、トランス開発の際は、お気軽にご相談ください。

サンシン電気株式会社

<https://www.sanshin-ele.com/>



2023年3月16日 日刊工業新聞掲載

※日刊工業新聞社から著作権利用の許諾を受けています。